

1. 基本情報

事務事業名	妊産婦健診通院費等助成事業			事業開始年度	H28		実施計画 事業番号	2-3-①-1	
担当課	保健福祉課	担当係	健康管理センター保健推進係	担当者	杉山 絹子				
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務			法定根拠					
実施方法(全てチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他( )								

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
	政策	3	健康で安心して暮らせる保健医療のまちをつくる
	施策	①	主体的にとりくむ健康づくりの推進
	具体的な施策	1	健康づくり推進事業
めざす目的成果	安心・安全な妊娠・出産・産じょく期を過ごすために必要な妊産婦健診及び通院にかかる費用の負担軽減を図ることで、母子保健の向上と異常の早期発見に努める。そのことにより、少子化対策の一助となることを目指す。		
事業 内容	対象 (誰を、何を)	・妊産婦及び生後1か月程度の児	
	手段・手法	・妊婦健診(出産時含む)及び産後1か月の産婦及び児の健診受診のための通院費:通院にかかった交通費用(バス代換算)を償還払いにより助成 ・産婦及び1か月児健康診査費用:健診にかかった費用を償還払いにより助成	
	サービス内容	・妊婦一般健康診査後期発行時に事業について説明、申請書の配布 ・出生後、新生児訪問時等に申請書類を確認し、その後、申請に基づき償還払いにより助成	

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		令和3年度事業費の内訳	
コスト	事業費	扶助費	1,835		1,975		2,457		【扶助費】 ・妊産婦通院費等助成:2,457
	事業費合計	1,835		1,975		2,457			
人件費	常勤職員(延)	3人日	99	3人日	90	3人日	90	令和3年度財源内訳の積算	
	会計年度任用職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0		
	人件費合計	99		90		90			
	総事業費	1,934		2,065		2,547			
財源内訳	国道支出金	420		484		401		・妊産婦出産支援事業費補助金:401 ・ふるさと納税寄付金充当:1,000	
	地方債								
	その他特定財源	1,000		1,000		1,000			
	一般財源	514		581		1,146			
	財源合計	1,934		2,065		2,547			
R2年度 実施内容	1. 通院費……妊婦健診1,534,000円(39人)、出産時(宿泊費含)114,800円(25人)、1か月健診121,490円(30人) 2. 健診費用……1か月健診 産婦107,700円(39人)・児97,777円(39人) 総事業費:1,975,767円								
活動指標 ※何をどのくらいやったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績 R1(目標)	R2実績 R2(目標)	R3(目標)	目標年度 最終目標値			
妊婦健診等通院費の助成件数	広尾町から通院する妊婦健診等の通院費を助成することで、経済的負担の軽減となる。	件	348 ( 480 )	405 ( 490 )	( 490 )	年度 ( 490 )			
産婦及び児の健康診査費助成件数	産後の産婦及び児の健康診査費用を助成することで、経済的負担の軽減が図られる。	件	91 ( 120 )	100 ( 140 )	( 140 )	年度 ( 140 )			
成果指標 ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績 R1(目標)	R2実績 R2(目標)	R3(目標)	目標年度 最終目標値			
妊産婦が広尾町から通院した通院費の助成率	広尾町からの通院に係る費用を全面的に助成することで、経済的負担の軽減となり、少子化対策につなげる。	%	100 ( 100 )	100 ( 100 )	( 100 )	年度 ( 100 )			
産後の産婦及び児の健康診査助成率	産後・1か月児健診にかかる費用を全面的に助成することで、経済的負担の軽減及び健やかな母子保健の向上につなげる。	%	92.8 ( 100 )	100 ( 100 )	( 100 )	年度 ( 100 )			

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価(自己評価)	1. 妥当性の評価			
	20	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明	産科医療機関が遠方であるという地域特性から、妊産婦健診にかかる通院の負担等をふまえ、町として行うべきである。
	/20	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明	交通費に関しては、自宅から通院したものに對する費用が助成対象となるため、現行の償還払いが適切である。
	2. 公平性の評価			
	16	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		2
		<input type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input checked="" type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明	事業の対象となる妊婦及び新生児に対しては全員に周知されており、また、助成率も100%である。
		② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。		2
		<input type="radio"/> 十分適切である(10) <input checked="" type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)	説明	
/20	③ 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明	自宅から産科医療機関までの移動距離を勘案した場合、通院の負担軽減に有効であると考え。	
	④ 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。		2	
	<input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input checked="" type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明	妊娠届出・出生数の減少により件数は計画値以下であるものの、助成率は計画値通りである。	
/20	4. 効率性の評価		2	
	16	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。		
		<input type="radio"/> 比較的低コストである(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明	
	/20	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。		1
<input checked="" type="radio"/> 効率性が高い(10) <input type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率的である(0)		説明		
5. 優先性の評価				
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)	説明	事業対象者が健やかな妊娠・出産期を過ごすため、また、少子化対策の一環として継続実施すべき。	
	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明	事業廃止により子育て世帯の負担が増大するほか、経済的な負担を理由に必要な健診を受けることを控えたり、子どもをあきらめるなど少子化を加速させることにつながりかねない。	
/20				

合計	88	/100	事業実施の課題・方向性	北海道が実施している妊産婦安心出産支援事業補助金の算定基準に加え、町独自で助成の拡大を行っている。 妊産婦や乳幼児を抱える家庭に対して経済的な支援を行うことにより、健やかな母子保健の向上や少子化対策の一助となることから、事業内容の見直しを行いながら事業を継続する。
----	----	------	-------------	---

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価(政策プロ)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	今後の取組方針(改善点・変更点)		
主管者会議評価	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	総合コメント		

1. 基本情報

事務事業名	医療機器・設備整備事業			事業開始年度	R1		実施計画 事業番号	2-3-②-5	
担当課	保健福祉課健康管理センター	担当係	総務係	担当者	雄谷 幸裕				
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務			法定根拠					
実施方法(全てチェック)	<input type="checkbox"/> 町が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他( )								

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
	政策	3	健康で安心して暮らせる保健医療のまちをつくる
	施策	②	医療体制の充実
	具体的な施策	2	国民健康保険病院の充実
めざす目的成果	計画的な医療機器・設備の整備を行い、医療体制の充実化を図ることにより、住民が健康で安心して暮らせる生活が図られる。		
事業 内容	対象 (誰を、何を)	医療機器・設備	
	手段・手法	故障等により医療提供に支障をきたさないよう、計画的に医療機器・設備の整備を行う。	
	サービス内容	充実した医療の提供。	

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		令和3年度事業費の内訳	
コスト	医療機器購入費	43,427		100,098		25,056		消化管汎用スコープ:8,019 大腸スコープ:4,554 医用テレメーター:5,500 赤外線眼振画像TV装置:260 電子カルテ端末:490 食器消毒保管庫:990 スチームコンベクションオープン:1,530 軽自動車(貨物):1,698 軽自動車(ワゴン):2,015	
	MRI増築工事			109,780					
	改修工事					2,475			
	事業費合計	43,427		209,878		27,531			
	人件費								
	総事業費	43,427		209,878		27,531			
財源 内訳	常勤職員(延)	人日	0	人日	0	人日	0	国道支出金:国民健康保険調整交付金 地方債:過疎債9,700、企業債9,700 その他特定財源:町からの運営交付金	
	会計年度任用職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0		
	人件費合計	0		0		0			
	国道支出金	4,125		16,596		4,125			
	地方債	29,200		185,000		19,400			
その他特定財源	10,000		7,133		2,111				
一般財源	102		1,149		1,895				
財源合計	43,427		209,878		27,531		令和3年度財源内訳の積算		
R2年度 実施内容	MR、人工呼吸器、超音波診断装置、尿自動分析装置、電動低床ベッド、薬用冷蔵ショーケース、薬用保冷庫、冷凍冷蔵庫、配膳車、輸液ポンプ、電子カルテ端末機、オンライン資格認証システム、遠隔画像診断システム、遺伝子検査装置、検温機能付き顔認証デバイス、空気清浄ユニット、クリーンパーテーション、クリーンベット、MRI棟増改築を行った。								

活動指標 ※何をどのくらいやったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
医療機器・設備の更新・整備を 実施する	更新・整備することにより、住 民の健康と安心して暮らせる 生活の向上が期待できる。	台	12	19	—	年度
			( 9 )	( 11 )	9 ) ( )	
			( )	( )	( )	年度
成果指標 ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
医療提供体制の充実化を図る	充実した医療提供をすることによ り、住民の健康と安心して暮らせる 生活の向上を目指すものである。				—	年度
			( )	( )	( ) ( )	
			( )	( )	( )	年度

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価(自己評価)	1. 妥当性の評価			
	20	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明	住民の健康と安心して暮らせる生活の向上のため町が行うべき事業。
	/20	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明	適している。
	2. 公平性の評価			
	20	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明	公平である。
	/20	② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 十分適切である(10) <input type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)	説明	機器の更新・整備に関する費用負担はない。
3. 有効性の評価				
20	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明	機器・設備の更新・整備は住民の健康と安心して暮らせる生活向上のため、とても有効であると考えられる。	
/20	② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 計画値以上である(10) <input type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明	医療提供体制の充実が図られた。	
4. 効率性の評価				
16	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。		2	
	<input type="radio"/> 比較的低コストである(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明	入札・見積もり合わせを執行し、適正なコストである。	
/20	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 効率性が高い(10) <input type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率である(0)	説明	更新・整備による、医療提供体制の充実が効率性が高く適正である。	
5. 優先性の評価				
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)	説明	継続して実施し、住民の健康と安心して暮らせる生活の向上が図られる。	
/20	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明	住民の健康と安心して暮らせる生活の向上に重大な影響を及ぼす。	

合計	96 /100	事業実施の課題・方向性	事業を継続して行い、住民の健康と安心して暮らせる生活の向上を図る。
----	------------	-------------	-----------------------------------

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価(政策プロ)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	今後の取組方針(改善点・変更点)		
主管者会議評価	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	総合コメント		

1. 基本情報

事務事業名	診療施設確保対策事業		事業開始年度	R1		実施計画 事業番号	2-3-②-6
担当課	保健福祉課健康管理センター	担当係	総務係	担当者	雄谷 幸裕		
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務			法定根拠			
実施方法(全てチェック)	<input type="checkbox"/> 町が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他( )						

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
	政策	3	健康で安心して暮らせる保健医療のまちをつくる
	施策	②	医療体制の充実
	具体的な施策	2	国民健康保険病院の充実
めざす目的成果	・町内に皮膚科医が不在のため、北斗病院から専門医師を派遣してもらうことにより、診療を可能にし、医療提供体制の充実化を図る。		
事業 内容	対象 (誰を、何を)	・皮膚科受診希望患者	
	手段・手法	・皮膚科医師を月2回派遣してもらい、診療を行う。	
	サービス内容	・充実した医療の提供。	

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		令和3年度事業費の内訳	
コスト	事業費	報償費	1,200		1,200		1,200		皮膚科:1,200
		交通費	240		240		240		
	事業費合計	1,440		1,440		1,440			
人件費	常勤職員(延)	人日	0	人日	0	人日	0	令和3年度財源内訳の積算	
	会計年度任用職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0		
	人件費合計	0		0		0			
総事業費		1,440		1,440		1,440			
財源内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	1,440		1,440		1,440			
	財源合計	1,440		1,440		1,440			
R2年度 実施内容	北斗病院から月2回皮膚科医師の派遣を受け、診療を行った。								
活動指標 ※何をどのくらいやったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度	最終目標値		
皮膚科診療回数	皮膚科診療を行うことにより、 医療提供体制の充実化を図る。	回	24	24	—	年度	( )		
			( 24 )	( 24 )	( 24 )	( )	( )		
			( )	( )	( )	( )	( )		
成果指標 ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度	最終目標値		
			R1(目標)	R2(目標)	R3(目標)	最終目標値	( )		
			979	1,065	—	年度	( )		
皮膚科患者数	本町で受診可能となり、容易に 医療提供を受けることができる。	人	( 700 )	( 700 )	( 900 )	( )	( )		
			( )	( )	( )	( )	( )		
			( )	( )	( )	( )	( )		

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価 (自己評価)	1. 妥当性の評価			1
	20	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明	住民の健康と安心して暮らせる生活の向上のため町が行うべき事業。
	/20	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明	適している。
	2. 公平性の評価			
	20	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明	皮膚科診療を受診することができるため、公平である。
	/20	② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 十分適切である(10) <input type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)	説明	医療費制度に基づくため、適切である。
3. 有効性の評価			1	
20	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明	本町で受診できるため、とても有効である。	
/20	② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 計画値以上である(10) <input type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明		
4. 効率性の評価			2	
16	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。		1	
	<input type="radio"/> 比較的低コストである(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明	適正である。	
/20	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 効率性が高い(10) <input type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率である(0)	説明	受診患者数が増加しており、効率性が高い。	
5. 優先性の評価				
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)	説明	継続して実施し、住民の健康と安心して暮らせる生活の向上が図られる。	
/20	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明	皮膚科受診可能な帯広等まで行かなければならなくなり、影響は大きい。	

合計	96	/100	事業実施の課題・方向性	事業を継続して行い、住民の健康と安心して暮らせる生活の向上を図る。
----	----	------	-------------	-----------------------------------

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価 (政策プロ)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	今後の取組方針(改善点・変更点)		
主管者会議評価	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	総合コメント		

1. 基本情報

事務事業名	緊急医療確保対策事業			事業開始年度	R1		実施計画 事業番号	2-3-②-7	
担当課	保健福祉課健康管理センター	担当係	総務係	担当者	雄谷 幸裕				
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務			法定根拠					
実施方法(全てチェック)	<input type="checkbox"/> 町が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他( )								

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
	政策	3	健康で安心して暮らせる保健医療のまちをつくる
	施策	②	医療体制の充実
	具体的な施策	2	国民健康保険病院の充実
めざす目的成果	・365日24時間体制の救急医療を維持するため、民間の医療法人との連携により、土日祝日の宿日直を行う支援医師を確保し、住民の健康と安心して暮らせる生活の向上を図る。		
事業 内容	対象 (誰を、何を)	・患者	
	手段・手法	・365日24時間体制の救急医療を維持するため、民間の医療法人との連携により、土日祝日の宿日直を行う支援医師を確保する。	
	サービス内容	・充実した医療の提供。	

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		令和3年度事業費の内訳	
コスト	事業費	報償費	23,372		24,176		24,704		・支援医師:24,704 ・交通費:2,256
		交通費	1,984		2,288		2,256		
	事業費合計	25,356		26,464		26,960			
人件費	常勤職員(延)	人日	0		人日	0			
	会計年度任用職員(延)	時間	0		時間	0			
	人件費合計	0		0		0			
総事業費		25,356		26,464		26,960		令和3年度財源内訳の積算	
財源内訳	国道支出金	2,484		2,484		2,000			
	地方債	290		290					
	その他特定財源								
	一般財源	22,582		23,690		24,960			
	財源合計	25,356		26,464		26,960			

R元年度 実施内容	民間の医療法人との連携により、支援医師を確保し、365日24時間体制の救急医療を行った。						
--------------	--	--	--	--	--	--	--

活動指標 ※何をどのくらいやったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
24時間救急医療体制実施日数	365日24時間体制の救急医療を行うことで、住民の健康と安心して暮らせる生活の向上が期待できる。	日	366	365	—	年度
			( 366 )	( 365 )	( 365 )	( )
			( )	( )	( )	( )
						年度
						( )
成果指標 ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
時間外患者数	365日24時間体制の救急医療を行うことで、住民の健康と安心して暮らせる生活の向上が図られる。	人	1,410	726	—	年度
			( )	( )	( )	( )
						年度
						( )

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価(自己評価)	1. 妥当性の評価			
	20	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明	住民の健康と安心して暮らせる生活の向上のため町が行うべき事業。
	/20	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明	適している。
	2. 公平性の評価			
	20	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明	公平である。
	/20	② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 十分適切である(10) <input type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)	説明	適切である。
3. 有効性の評価				
16	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明	365日24時間体制の確保は、とても有効である。	
/20	② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。		2	
	<input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input checked="" type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明		
4. 効率性の評価				
12	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。		2	
	<input type="radio"/> 比較的低コストである(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明	医師確保のため適正なコストである。	
/20	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。		2	
	<input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input checked="" type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率である(0)	説明	365日24時間体制の確保のため、適正である。	
5. 優先性の評価				
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)	説明	365日24時間体制の救急医療は、住民の健康と安心して暮らせる生活の向上が図られる。	
/20	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明	住民の健康と安心して暮らせる生活の向上に重大な影響を及ぼす。	

合計	88	事業実施の課題・方向性	事業を継続して行い、365日24時間体制の救急医療を維持する。
	/100		

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価(政策プロ)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	今後の取組方針(改善点・変更点)		
主管者会議評価	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	総合コメント		

1. 基本情報

事務事業名	専門診療の充実		事業開始年度	R1		実施計画 事業番号	2-3-②-8	
担当課	保健福祉課健康管理センター	担当係	総務係	担当者	雄谷 幸裕			
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務			法定根拠				
実施方法(全てチェック)	<input type="checkbox"/> 町が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他( )							

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合計画(基本計画)上の位置づけ	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
	政策	3	健康で安心して暮らせる保健医療のまちをつくる
	施策	②	医療体制の充実
	具体的な施策	2	国民健康保険病院の充実
めざす目的成果	他病院から医師を派遣してもらうことにより、専門外来の診療を可能にし、医療提供体制の充実化を図る。		
事業内容	対象(誰を、何を)	・患者	
	手段・手法	・他病院から医師を派遣してもらうことにより、精神科、脳神経外科、循環器内科、耳鼻咽喉科、整形外科、消化器内科、総合診療科の専門診療を行う。	
	サービス内容	・充実した医療の提供	

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		令和3年度事業費の内訳	
コスト	報償費	25,638		27,358		36,398		報償費 ・精神科:810 ・脳神経外科:3,680 ・循環器内科:4,000 ・耳鼻咽喉科:7,200 ・整形外科:3,840 ・消化器内科:7,680 ・総合診療科:8,000 ・精神科(大江):1,188 交通費:8,835	
	交通費	7,871		9,373		8,835			
	事業費合計	33,509		36,731		45,233			
	人件費	0		0		0			
	総事業費	33,509		36,731		45,233			
	財源内訳	33,509		36,731		45,233			令和3年度財源内訳の積算
財源内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	33,509		36,731		45,233			
	財源合計	33,509		36,731		45,233			

R元年度実施内容	他病院から医師を派遣してもらい、専門外来の診療を行った。						
----------	------------------------------	--	--	--	--	--	--

活動指標 ※何をどのくらいやったかを把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
専門外来診療回数	専門外来診療を行い、医療提供体制の充実化を図る。	回	384	385	—	年度
			( 168 )	( 389 )	( 361 )	( )
			( )	( )	( )	( )
成果指標 ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	R1実績	R2実績	R3(目標)	目標年度
			R1(目標)	R2(目標)		最終目標値
専門外来患者数	本町で診療可能となり、容易に医療提供を受けることができる。	人	9,156	9,710	—	年度
			( 2,000 )	( 9,000 )	( 10,000 )	( )
			( )	( )	( )	( )

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価 (自己評価)	1. 妥当性の評価			
	20	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明	
	/20	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明	適している。
	2. 公平性の評価			
	20	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明	専門診療を受診することができるため、公平である。
	/20	② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 十分適切である(10) <input type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)	説明	医療費制度に基づくため、適切である。
	3. 有効性の評価			
	20	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明	本町で受診できるため、とても有効である。
	/20	② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。		1
		<input checked="" type="radio"/> 計画値以上である(10) <input type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明	
4. 効率性の評価				
16	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。		2	
	<input type="radio"/> 比較的低コストである(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明	適正である。	
/20	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 効率性が高い(10) <input type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率である(0)	説明	受診患者が増加しており、効果性が高い。	
5. 優先性の評価				
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)	説明	継続して実施し、住民の健康と安心して暮らせる生活の向上が図られる。	
/20	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。		1	
	<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明	受診可能な帯広等まで行かなければならぬ、影響は大きい。	

合計	96	/100	事業実施の課題・方向性	事業を継続して行い、住民の健康と安心して暮らせる生活の向上を図る。
----	----	------	-------------	-----------------------------------

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価 (政策プロ)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	今後の取組方針(改善点・変更点)		
主管者会議評価	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
	投入資源の方向性	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
		労働量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま <input type="radio"/> 縮小
	総合コメント		